

お金に余裕がない狛江市で、お金を使わずアタマを使った、市民全体のための市政を目指します。

わかりやすく
お伝えします！



無所属の狛江市議会議員 三宅まことの 市政レポート

Vol.2

市政報告レポート 2015年夏号【発行】狛江市議会議員 三宅まこと事務所
〒201-0004 狛江市岩戸北3-18-8-701 TEL:090-3815-6045 FAX:03-3489-1677

公式HP <http://三宅まこと.com>

 狛江市平成26年度決算特別委員会が開催、(9月25日～29日)
市議会として各事業が適切に行われていたのかを検証いたしました。

1



よく地方議会で
イデオロギーの話を
される議員が
いらつしやいます。

戦術立案
反対!

2



でも議会では
他にやるべきことは
山ほどあります

介護
ゴミ
あれも
これも
子育て
教育


3



そもそも地方行政に
イデオロギーが入ってくる
余地などほとんど
ありません。

でしよ?!

4



というわけで
9月議会では
平成26年度決算に
関し話し合われました。

紙の資料30センチ

それでは、狛江市の財政状況をミヤケが解説させていただきます。

ウラ面へ続く



毎週月曜朝に狛江駅北口で
狛江市にまつわる数字のお話をしております

無所属の狛江市議会議員 三宅まこと市政報告会

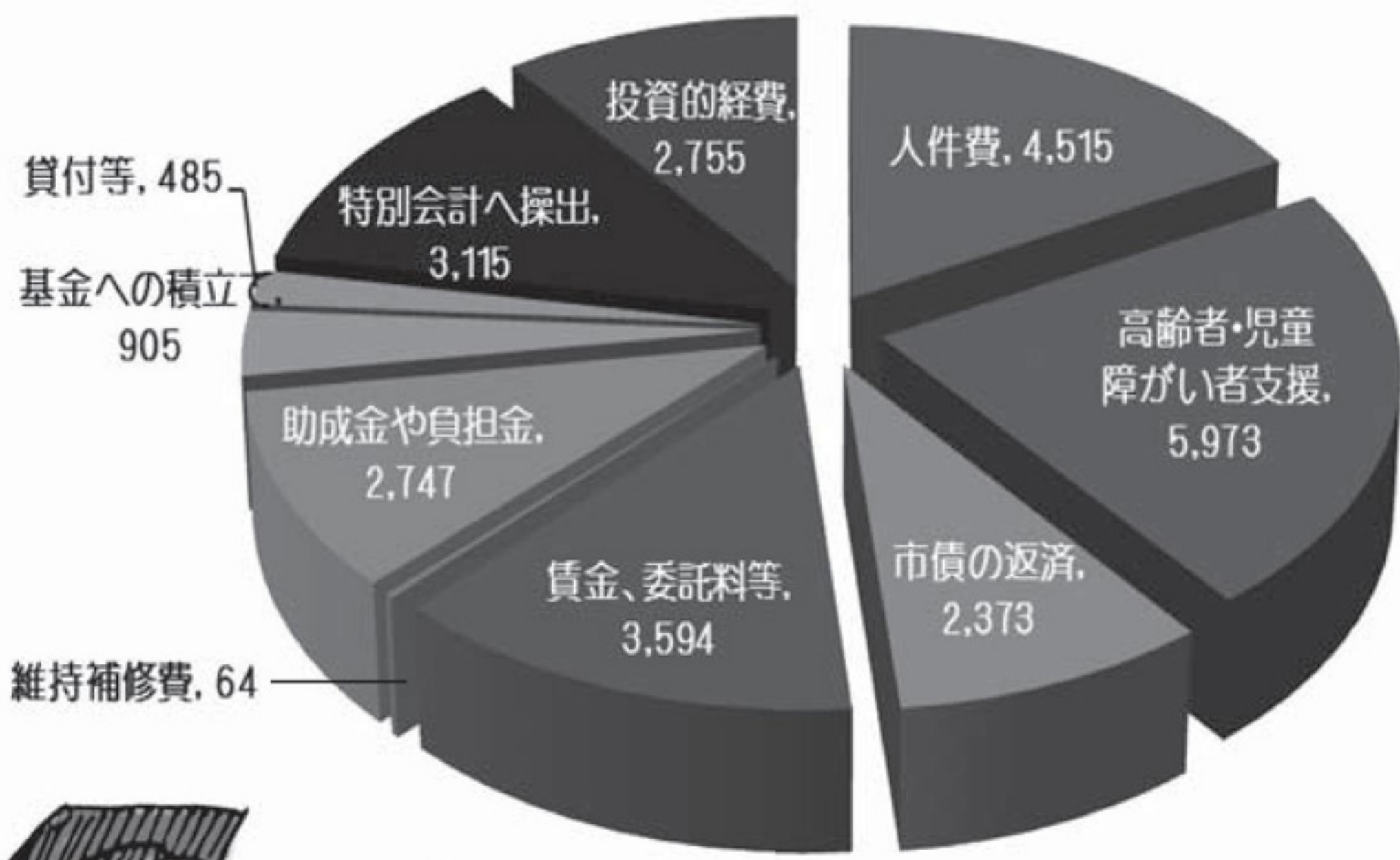
無料 市民の皆様、
ぜひご参集ください
10月31日(土)AM11:00～
狛江駅北口エコルマ・喫茶ノタリーノ2階



準備の都合上、ご出席くださる方はメールにて「お名前」を事前にお知らせくださいますようお願い申し上げます。miyakemakoto@sakurasaku.or.jp

貯金が少なく、借金が多い狛江市ですが、少しずつ明かりが見えてきました！

5 これが、狛江市260億のお金の使い道だ！



平成26年度一般会計歳出決算内訳 (単位:百万)

人件費	4,515	助成金や負担金	2,747
高齢・児童・障がい	5,973	基金への積立て	905
公債費	2,373	貸付等	485
賃金、委託料等	3,594	特別会計へ探出	3,115
維持補修費	64	投資的経費	2,755



平成26年度決算狛江市一般会計のうち歳入は約270億円、歳出は約260億円(内訳は円グラフ参照)、国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険などの特別会計では歳入歳出とも約168億円の決算となりました。狛江市の特徴としては公債費(過去の借金)が依然として200億円以上あるうえに、基金残高(貯金)が16億円(=多摩26市中最低位)と極めて少なく、予断を許さない財政状況が続いております。

しかしながら徐々にですが明るい兆しは見えてまいりました。使い道が決まっている財源の割合、いわゆる経常収支比率が91.0%(前年比マイナス1.7%)となり、多摩26市中8番目と着実に改善されてきました。ここ数年来、財政規律の見直しが進み、毎年の借入額が返済額より多くならないように運営されてきたのも、未来の子供たちに負債を残さないという点で大変評価できるものです。

そうした中で、シンマイ議員ミヤケは、平成27年第3回定例会において「歳出抑制による財源確保」の視点で一般質問をさせていただきました。

財源確保という意味で大きな可能性を感じているのは「ゴミ行政の中で資源物(古紙やペットボトル等)の集団回収推進」の視点です。詳細は市議会HPでアーカイブ映像でご覧いただくことができますのでぜひご覧ください。(下記アドレス参照)

直近議会は、インターネットでご覧になれます 市議会議員の一般質問、および狛江市議会の模様は、<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/komae/WebView/list.html>

狛江の数字

44.1%

平成26年度決算一般会計において市税は前年比3.5%増の118億となりました。個人市民税や固定資産税が増加してことが大きな要因ですが、新しく狛江市民になられた方々が市税増に大きく寄与していただきました。市内を歩いておられますと、新しい戸建てや分譲マンションを目にすることが多いのですが、狛江市民で市内に住まれて10年以内の方がどの程度いらっしゃるかを調べてみました。住民基本台帳の年齢別居住歴という資料から見ますと、総人口78,623人のうち5年以内の居住で29.1%、6~10年で14.0%ということで、実に全体で44.1%の方が狛江市に住んで10年以内ということになります。因みに11~20年の方は21.9%、21年以上は34.0%ということです。私の場合、狛江市に住んで20年ですので、ちょうど真ん中あたりのようです。皆様はいかがでしょう？

ギカイのフシギ 議会改革

市議会議員選挙を経た改選後ということで、議会改革のお話がぼちぼち進むようになりました。経緯を整理しますと、「今年度より議員の期末手当は減額したけど、議員定数削減も含めて平成29年3月31日までに一定の結論を導き出そう」というのが前回までのお話。9月の議会運営委員会にて①話し合いは議会運営委員会で行うこと②メンバーは一人会派含めて全員で行うこと③議決は多数決ではなく合議で行うということに決まりました。私のような無所属一人会派議員も仲間に入れていただくのは有難いことですが、最悪の場合、「民主主義の立場で議員定数削減は反対!(なんじゃ、その理由は!?)」という声が出てこないとも言い切れない状況です。皆様には引き続き議員定数だけでなく、幅広く議会改革の進捗をご報告してまいりますのでご期待ください。

今後も「議会改革・定数削減」の動きを伝えてまいりますのでご期待ください。



狛江市議会議員 三宅まこと

1964年 東京都生まれ。立教大学経済学部卒業。

1987年 広告代理店・東急エージェンシーに27年間勤務

2014年 12年5月、120名社員プロジェクトをリーダーとして運営中に、妻が病気を発症し、要介護認定に伴い介護休職後に退社。同時に自身が社会保障の重要性に芽生え、介護初任者研修、介護事務、実務者研修修了、同行援護従業者資格取得。

2015年 狛江市議会選挙にて、新人ながら1871票の得票数を頂戴し、全体の2位で当選

著書 「愛妻 納税 墓参り 家族から見た三宅久之回想録」(2014年イースト・プレス社刊)

三宅まことの “出前” 市政座談会

どんな小さな集まりでも構いませんので、皆様のご意見をぜひお聞かせください。

メールにてお問い合わせください
miyakemakoto@sakurasaku.or.jp

政治団体: 狛江で分かりやすい政治を伝える会